

フォーラム 「明日を拓く東北横断自動車道：釜石～花巻間2007」 を開催！！

～道路建設課～

- 日時：平成19年12月2日（日） 13：30～16：00
- 会場：遠野市民センター <大ホール>
- 主催：岩手県高規格幹線道路整備促進期成同盟会（会長：岩手県知事）
東北横断自動車道釜石秋田線 釜石・花巻間建設促進期成同盟会（会長：花巻市長）
釜石自動車道利用促進協議会（会長：遠野市長）

◎ フォーラムの開催趣旨

現在、東北横断自動車道の遠野～東和間は、国により整備が進められており、また、今年3月には県民の悲願であった仙人峠道路が開通しました。しかし、仙人峠道路の前後区間の整備時期については見通しが立っていない状況にあります。

このような状況を踏まえ、東北横断自動車道の釜石～花巻間の全線が早期に整備・開通されるよう、また、道路特定財源の暫定税率が維持され、全額が道路財源に充当されるよう訴えるため、約780名の出席のもとフォーラムが開催されました。



東北地方整備局道路部長 三浦真紀 様

◎ 基調講演「道路をめぐる最近の話題について」

主催者・来賓挨拶の後、東北地方整備局の三浦道路部長から基調講演がありました。

道路整備の中期計画では、「選択と集中による効果的な事業の実施」を基本的な視点としており、無駄遣いではないこと、県内の高規格道路についても予算が確保できれば整備していく所存であること、暫定税率が途切れると、岩手県の財源 230 億円のうち 103 億円がなくなり、中央との格差が広がる恐れがあること等について、話がありました。

◎ 意見発表

「医療の地域間連携と道路整備の必要性」

遠野市で助産師をしている菊池さんは、自分の出産の経験などをもとに、「産婦人科の医師がいない遠野では、妊産婦を1分1秒でも早く病院に早く届けられる道路、まさに命の道路の整備が、遠野で暮らすみんなの笑顔のために必要である」と、医療面での道路整備の必要性を訴えられました。



助産師 菊池幸枝 様



北上商工会議所事務局長 鎌田眞平 様

◎ 意見発表

「仙人峠道路開通効果と今後の物流」

物流企業の立場から、トヨタ輸送の臺さんは、「仙人峠の旧道は全国でトップランクに入る危険な道路だったが、新道は走っているとどこが峠かわからないうちに行き来でき、乗務員から高い評価を聞いている。燃費が向上し、タイヤ磨耗も減っており、コストダウンに繋がっている」と、高規格道路に対して高い期待を寄せていました。

◎ 意見発表

「産業振興面から見た道路網整備」

北上商工会議所の鎌田さんからは、「道路が完成することで、三陸沿岸と内陸の交流の活発化が図られ、豊かな資源をその地区の人だけでなく広く多くの人に利用してもらえると同時に、県内格差の是正にも貢献する。人やモノ、情報の交流が活発になり、新たな産業や雇用の創出も期待できる。」との主張がありました。



トヨタ輸送(株)釜石営業所副所長 臺隆明 様



台温泉旅館組合組合長 松田昇 様

◎ 意見発表

「高速ネットワーク整備が観光に与える効果」

花巻市台温泉の松田さんからは、「観光客に長く岩手に滞留してもらうため、平泉・花巻・遠野の3都を結ぶクラシック街道を予定中であるが、横断道の実現がなければ観光客が他県に行ってしまう危機感を持っている。横断道が完成すれば、目的地の裾野が広がるのではないか。」と、他県との競争も視野に入れた話がありました。

◎ 決議

最後に、以下の要望を盛り込んだ決議を行い、盛会のうちに閉幕しました。

- 1 「真に必要な道路整備」のための中期計画については、素案に示された事業量の規模を縮小することなく、決定すること。
- 1 中期計画の素案に示された施策の計画的な実行を可能とするため、道路特定財源については、暫定税率を維持した上で、一般財源化することなく、その全額を道路財源に充当すること。
- 1 現在事業中の東北横断自動車道釜石秋田線 遠野～東和間の早期供用を図ること。
- 1 東北横断自動車道釜石秋田線 釜石～釜石西間、遠野住田～遠野間の早期事業化を図ること。